

私たちは、ヨーロッパの伝統的なビール文化を尊重し、手づくりの本格ビールを通して、ビールにも選ぶ楽しみを提案します。食卓がもっと豊かに、ハッピーなものになるよう、地元岩手よりビール文化を発信していきます。

ベアレン醸造所スタッフ一同

リレーエッセイ

藤村 美花 | 営業部流通課

皆さんこんにちは。皆さんのムードメーカー「さち姉」からバトンを受け取りました！営業部の藤村美花です。3年目にしてついに回ってきたバトン...！何を話すか悩みますが、今日は、私がビールと同じくらい大好きな卵の話をしたと思います。

私の卵好きはベアレンスタッフでは知っている人も多いですが、「好きな食べ物は何？」の質問で一番に来るくらい卵が大好きです！卵の好きなところ・栄養が沢山含まれていたり、色々な料理に使えたりとたくさん魅力はありますがやっぱり、割ったらすぐ食べられる手軽さが私の一番の好きポイントです。(笑)手軽だから何かと卵を食べていることが多くて、調子の良いときは1週間から1パック消費してしまっこともあります。(食べすぎには注意しています、笑)

も、岩手県の紫波町にある「たまご家さん」というお店の卵が大好きです。黄身が濃くて甘みがあっておいしいので、時々ふと食べたくなって、仕入れに紫波まで車を走らせます。ですが、いつも調子に乗って買いきってしまうのがお決まりのパターン、その後しばらくは卵かけごはん・親子丼・オムライス・卵漬けになります。大好きなのでむしろ嬉しいですが...！ここまで卵愛を語れる自分に若干びっくりしていますが、(笑)今後ビール愛と、卵愛を深めていきたいと思っています！

次は業務課のゴンさんこと中村大和さんにバトンを回します！



今月の新製品

藤村 美花 | 営業部流通課

旬の県産りんごを使った限定商品「アップルラガー」が10月下旬より好評発売中です！りんごといえば、秋・冬にかけてのこの季節。ベアレンのある岩手県は全国でも上位にくるほどのりんご生産県で、岩手の秋冬には欠かせないフルーツでもあります。ベアレンでもそんな地元りんごを使った商品をいくつか発売していて「アップルラガー」もその一つ。使うりんごはもちろん100%岩手県産で、県内の農家さんから取り寄せた果実を工場スタッフが丁寧に搾って果汁にしています。搾った果汁はそのまま果汁と一緒に発酵させるのでりんごの果実感も感じつつしっかりラガーの飲みごたえもある味わいに。りんご好きも、そしてビール好きも大満足の味わいです！限定「アップルラガー」みなさまぜひお試しください。

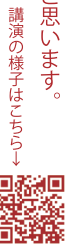


海外展開は、中国のロックダウンなどにも苦しめられましたが、デンマークで開催されたミックケラーの世界最大のイベントMBC Cヘスタップを派遣しました。日本から招待されたのは当社のみ、様々な交流を図り今後の展開が広がりました。MBC Cの一枚、弊社内務ミツケラー創業者のミツケル氏

2022年を振り返って

寫田 洋一 | 代表取締役社長

まさに怒涛の1年だった2022年。恒例の1年の振り返りをしてみたいと思います。5月の株主総会で代表取締役に就任したことがなんとと言っても最大の出来事でした。しかし、私としてはあまり前のめりになりすぎず、今までやってきたことを改めて見つめなおし、そしてそれをまっすぐは大切に、原点に立ち戻るということを自分に言い聞かせてきました。そんな思いは、7月4日の就任パーティでお話させていただきました。動画は公開されているので、ぜひご覧くださいと思います。



講演の様子はこちら↓



もちろん、チャレンジも忘れてはいません。10月にはビアバーベアレン中ノ橋を前の場所より新装の盛岡バスセンターへ移転、新たなビールの楽しみ方を提案



弊社内務ミツケラー創業者のミツケル氏

コラボ商品も多く発売しました。春には三陸鉄道さんとのコラボ、三鉄ピルスナーを発売、東京を中心に展開するドイツビールの飲食店「シユマツ」さんとは今年2回目のビールが今ちょうど展開中です。秋には新製品ラッシュで、イトーヨーカ堂さんのフレッシュホップピルスナー、生協さんの国産原料100%ビール、マルイチさんのフレッシュホップラガー、今年2年目となるオプチキ

編集後記

都鳥 勇介 | 総務部

日々寒さが増し、本格的な冬の訪れを感じる盛岡。早いもので、2022年も残すところあと僅かとなりました。良い1年の締めくくりにするべく、ベアレンビールを飲んで、みなさんラストパートがばりましょう！今年もベアレンをご愛顧いただきまして、ありがとうございます。

今月の一枚



ベアレンカレンダー2023年ver.が完成しました！テーマは、ずばり「ベアレンビール造りカレンダー」ベアレンならではの珍しい設備や醸造工程をかわいらしいウマさんがご案内します！



各アカウント「見」はこちら↓



さんのコラボ、オプチキレッドラガーはTシャツも作りました。そして先月、これも2年目となります釜石シーウエイブスさんの応援ビール、そして、今注目のヘラルボニーさんとコラボギフトも発売されました。より多くの人にクラフトビールの楽しさを知ってもらいたいため、様々な切り口でこれからもご提案していきます。10月には、ワインの新ブランド「Our Hour」をリリースしました。クラフトビールにとどまらず、ベアレンが大切にしてきた地域密着と食卓のハッピーを新たな視点でも提案していきます。そして、来年は20周年です。大きな節目の1年になるよう、すでにプロジェクトもスタートしました。2023年のベアレンにもどうぞご期待ください。



「Our Hour」プロジェクト

佐々木 彩瑛 | 営業部業務課

今年、ベアレンから微発泡ワインの新ブランド『Our Hour』(アワーワー)が誕生しました！すでに「ドライシールド」、「ゆずサイダー」、「山葡萄スパーキング」と様々な果実酒を造ってまいりました。今年はその歴史ある「サイダー」が、大リニューアル！私、佐々木と同期の藤村が担当を務めさせていただきます。



佐々木彩瑛(左)、藤村美花(右)

岩手県産果実を用いた果実酒について、リブランディングプロジェクトのお話が出たのは今年の春のこと。地ビール会社であるベアレンにとって、新たな果実酒ブランドとその商品はどのような位置づけとなるのか？市場調査やマーケティング的分析、ペルソナ(架空の顧客像)の設定により、ターゲット層やブランドイメージの絞り込みと商品の特長の明確化が行われました。私たちの設定したペルソナは「ミナ」といいます。『28歳女性。仕事は6年目。少し余裕もできてきた頃で、自分磨きや丁寧な暮らしを心がけている。流行には敏感だけど、鵜呑みにはせずじつじつと考えるタイプ。素材にこだわり、「ちょっと良いもの」を選ぶようになって』と、かなり細かく設定しました。そして、「ミナならこういうのを買ってよね」「あのお店はミナっぽい！」など具体的に設定することでブランドイメージや方向性が絞り込まれ、「今日のごほうびに、1日をちよっと特別にする一杯を。」のコンセプトのもと、新ブランド『Our Hour』は誕生しました。

『Our Hour』には、様々な唐揚げ」。ソースやタレなどに絡めたりしない我々日本人に昔から馴染みのある「ザ・唐揚げ」で勝負することと店長会議でまじめに議論し合い(笑)、メニューを出し合いました。各店舗では、下味は各自する、大きき、衣は？など試行錯誤して今回の勝負に挑みました。勝負とはいえず、我々本人たちが一番楽しみながらやっています。全店舗制覇してくれたお客さまもいらっしやるのではないのでしょうか。ご来店、ご投票いただきましたみなさま、本当にありがとうございます。果たして今年はこのレストランが優勝に輝くのでしょうか！気になる結果は、SNSで後日、発表いたします！お楽しみに〜！

レストラン便り

今野 克伸 | 菜園マイクロブルワリー

こんにちは、いよいよ年末も近づきご家族間でも年越しは何食べる？買い物はどうする？などと話題に上っている頃ではないでしょうか？気温も大分寒くなり、風邪などこじらせないように気を付けてください。

最近、レストランのスタッフでの話題は、忘年会の予約は入るのか入らないのか問題。順調にコロナも回復してきたかと思えばここきて一気に急増、年末のスケジュールもみなさん立てられない状況です。さすがに大人数のご宴会は難しいかもしれませんが、少人数対応のプランもご用意しています。身内やお友達とごちんまりという宴は是非やってみて新しい年をお迎えてください。

今回は、11月10日〜30日にかけて直営レストランで開催しました毎年恒例のフェアイベントのご報告です。その名も「若手の鶏肉から揚げ選手権」。3店のシェフ達が工夫を凝らして唐揚げの味、またビールとの相性、サービススタッフの雰囲気などを総合的に見てもらい、食べて頂いたお客さまに投票券をお配りし、5点満点で評価して平均点で競い合いました。今回のルールは「シンプル

話が出たのは今年の春のこと。地ビール会社であるベアレンにとって、新たな果実酒ブランドとその商品はどのような位置づけとなるのか？市場調査やマーケティング的分析、ペルソナ(架空の顧客像)の設定により、ターゲット層やブランドイメージの絞り込みと商品の特長の明確化が行われました。私たちの設定したペルソナは「ミナ」といいます。『28歳女性。仕事は6年目。少し余裕もできてきた頃で、自分磨きや丁寧な暮らしを心がけている。流行には敏感だけど、鵜呑みにはせずじつじつと考えるタイプ。素材にこだわり、「ちょっと良いもの」を選ぶようになって』と、かなり細かく設定しました。そして、「ミナならこういうのを買ってよね」「あのお店はミナっぽい！」など具体的に設定することでブランドイメージや方向性が絞り込まれ、「今日のごほうびに、1日をちよっと特別にする一杯を。」のコンセプトのもと、新ブランド『Our Hour』は誕生しました。



ビアバーベアレン中ノ橋



ビアバーベアレン盛岡駅前



菜園マイクロブルワリー

笑熊会活動報告

海老名 勝文 | 営業部流通課

笑熊会から、お祝いの事を二つ、ご報告いたします！

一つ目は、営業部流通課の内館に第一子が誕生しました！子の誕生に伴いまして、内館は7月〜10月にかけて育児休暇を取得しております。ベアレンでは、男性の育児取得100%を宣言しており、子育てをしながらでも仕事のしやすい環境作りに取り組んでいます。

育休を通じて培った経験をこれからも家事に、そして仕事にと、存分に発揮してくれる事と思います。そして、お祝いの二つ目は、営業部業務課の佐々木彩瑛が入籍しました！披露宴には、スタッフも多数参列いたしました。幸せいっぱいでの感動の宴になったことですね。末永く幸せな家庭を築いてください！

笑熊会は、ベアレンの親睦会として2012年に発足し、笑ってビールを飲んでスタッフ同士の交流を深め、業務効率の促進を目的として日々活動しています。今回、ご報告しました出産や結婚以外にも、スタッフの誕生日にお祝いのメッ

わたしとベアレン

投稿者 | 倉持 亜由美さま

秋田県北部に祖父母が住んでいたのですが、東京からの帰省での途中下車はもっぱら盛岡。親戚はいませんが、子供の頃から第二の故郷のように思っている土地です。そこに地ビールの醸造所が出来たことはインターネットで知りました。最初は通販でお取り寄せし、帰省時にはクレーボックスを持ち込んで醸造所で購入。醸造所の2階でのんびり座ってビールを堪能しました。大好きな材木町にビアパブができて、盛岡での途中下車が一泊になりました。中ノ橋のホテルにも泊まってビアバーも訪問しました。樽生ビールはどれも最高ですが、ピターが一番のお気に入りです。祖父母が亡くなり、コロナが蔓延して、盛岡にしばらく行けていません。新しい中ノ橋店にも行ってみたいですね。

※応募QRコードより記事を投稿いただき、採用された方には『ベアレンビール3本セット』をプレゼント！ご応募お待ちしております！



応募QRコード

セージや誕生日ケーキをプレゼントし、その様子を写真に収め、笑熊会のグループLINEで共有し、スタッフみんなでお祝いしています。こうした活動は、工場やレストランなど、日頃なかなか会えないスタッフ同士でも、お互いの距離を近づける良い機会になっています。先月号でご紹介しました『家族会』もその一環で、スタッフ同士、さらにはスタッフ家族間の親睦を深めています。スタッフの幸せをお裾分けいただき、笑熊会も増々元気に楽しいイベントを開催していく所存です。お楽しみに！

佐々木夫婦の結婚式の様子。末永くお幸せに！

